

讀切傑作満載

富士

面白く!

主將

◎平手將棋の研究 花園道雄 著
◎戦機と機巧 潮路龍作 著

▲小説 騎士物語 戸川幸夫 著	▲小説 青春押し合戦 川口松太郎 著	▲小説 關の雲助 松浦健郎 著	▲小説 男の像 天路聖一郎 著	▲小説 唐系屋敷太郎 華山 著	▲小説 名刀ざんげ 米沢 著	▲小説 龜井忠臣録 藤七 著
-----------------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------

三日月號又々人氣爆發




現代小説 生命ある河 鐵兵 著

現代小説 新版天下茶屋 吉川 英治 著

現代小説 戀愛算術 菊池 寛 著

現代小説 探偵地獄の道化師 江戸川 乱歩 著

現代小説 三代盜ッ人宿 子母澤 寛 著

現代小説 曠野の火 加藤 武雄 著

現代小説 熱情の翼

▲小説 山岩に咲く花 小島政二郎 著

▲小説 柘榴一角 白井喬二 著

時代小説 川口松太郎 幕末十劔士

引續て『新選組の末の跡』に終焉現れた大明星、大河人、河津清三郎、引續て『新選組の末の跡』に終焉現れた大明星、大河人、河津清三郎、

書切れ追々、富士三日月號、特價七十銭

職業を教へ込み 生業資金も扶助 授産内職施設も拡充

に業失の者務勞 心親のりせ盡り至

労働者失業者の救済に努める。授産内職施設の拡充。労働者失業者の救済に努める。授産内職施設の拡充。労働者失業者の救済に努める。授産内職施設の拡充。

『平賀肅學』の嵐に 法學部依然低迷 懇談會も結局徒勞

法學部依然低迷。懇談會も結局徒勞。法學部依然低迷。懇談會も結局徒勞。

電話を詐欺

電話を詐欺。電話を詐欺。電話を詐欺。

申し込みに殺到

申し込みに殺到。申し込みに殺到。申し込みに殺到。

日露の役を偲び 官民一致の愛國運動へ

日露の役を偲び。官民一致の愛國運動へ。日露の役を偲び。官民一致の愛國運動へ。

雪の境界

雪の境界。雪の境界。雪の境界。

覇權何處へ！

覇權何處へ！。覇權何處へ！。覇權何處へ！。

大審判長 橋本八段けふ入城

大審判長。橋本八段けふ入城。大審判長。橋本八段けふ入城。

業者六名檢舉

業者六名檢舉。業者六名檢舉。業者六名檢舉。

就職詐欺男 四十七萬圓を拂へ

就職詐欺男。四十七萬圓を拂へ。就職詐欺男。四十七萬圓を拂へ。

千名突破

千名突破。千名突破。千名突破。

ガソリンの不正

ガソリンの不正。ガソリンの不正。ガソリンの不正。

南陽台高等住宅地

南陽台高等住宅地。南陽台高等住宅地。南陽台高等住宅地。

父よ

父よ。父よ。父よ。

悪性感冒

悪性感冒。悪性感冒。悪性感冒。

柳生旅日記

小金井 井 若槻六郎 著

「柳生」の物語は、江戸時代を代表する小説の一つである。柳生は、江戸に生まれ、父の死後、母と二人で生活する。母は、柳生を育て、彼が成長するのを待つ。柳生は、母の死後、一人旅立つ。彼は、江戸を離れ、各地を旅する。彼は、多くの困難に遭遇するが、常に母の教えを心に留め、それを乗り越える。柳生は、最終的に、母の死の真相を知り、母を救うことに成功する。この物語は、母の愛と、柳生の成長の物語である。



柳生は、母の死後、一人旅立つ。彼は、江戸を離れ、各地を旅する。彼は、多くの困難に遭遇するが、常に母の教えを心に留め、それを乗り越える。柳生は、最終的に、母の死の真相を知り、母を救うことに成功する。この物語は、母の愛と、柳生の成長の物語である。

朝鮮みやげの御用は

鶴野 海市商會

島産婦人科

島田 義雄

ロビン

感冒豫防と考案性
芳香性含嗽剤 新うがひ液

リベール

優秀治淋薬
うみ痛み
効め早き
木刺の特効

戦友の歌

スーラカントル
主演：カンカムアリウ

日本共立火災

火災保険

補血強壯剤

オーストリア

硬いクリーム

小じゅを つくる

ピオス

皮膚科

一週一度

髪洗御

ニクマ

美容

凍傷

アカギレ

日本海運

船期表

東宝

映画

中央

映画

東京

映画

十七版 國英四版 定價二・二〇〇
 此書の發行、讀者、豐かな教養と強靱な思想の唯一無二の前提であらう。出版物は日に氾濫し、思想の流れは益々奔騰するるとき、『書物の書物』としての本書の價值が如何に絶大であるかを、目餘にして十七版を突破した成績が雄辯に語つてゐる。

如何に読むべきか	自由	百三
いかに書くべきか	自由	三本
如何に讀すべきか	木村	三本
如何に書くべきか	木村	三本
第二部 國語の白話		
國語 大語	國語	是長 書局
井上 睦大	高木 八尺	未用 即
戸田 武雄	小島 丹	
第三部 國語の資料		
1 對等 年表	年表	立野月雄
2 國語 年表	年表	立野月雄
3 國語 年表	年表	立野月雄
4 必須書目	必須書目	立野月雄

附 統計にあらはれた近代學生の習俗
 概略

[illegible]

家庭

お母さんの希望
お母さんからの答へ

△三越
●日本刀の贈呈
●日本刀の贈呈
●日本刀の贈呈

入學試験を前に

お母さんの希望
お母さんからの答へ

口頭試問が心配

長男次男の苦しい経験
梅林菊子さん談

主婦の心得べき

愛國班の仕事
隣近所とも仲よく

愛國班の仕事

隣近所とも仲よく
稲垣辰男氏談

愛國班の仕事

隣近所とも仲よく
稲垣辰男氏談

愛國班の仕事

隣近所とも仲よく
稲垣辰男氏談

子供らしくあれ

口頭試問だけで詮衡しない
辻重氏談

子供らしくあれ

口頭試問だけで詮衡しない
辻重氏談

子供らしくあれ

口頭試問だけで詮衡しない
辻重氏談

子供らしくあれ

口頭試問だけで詮衡しない
辻重氏談

子供らしくあれ

口頭試問だけで詮衡しない
辻重氏談

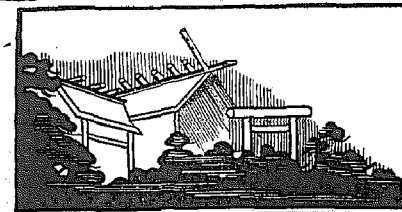
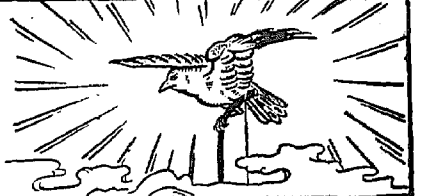
奉祝建國祭

間週揚發神精本日

仁川府花町三丁目 中村組出張所 電話八六八番	仁川府花町二丁目 二宮鐵工所 電話七三四番	仁川府花町十一丁目 京仁トラック株式會社 電話八六八番	仁川府花町三丁目 稻垣玉三郎	仁川府花町三丁目 川野昌美	仁川府花町三丁目 仁川木材商組合	仁川府花町三丁目 野口商會 電話一七五七番	仁川府花町三丁目 吉木善介	仁川府花町三丁目 今村覺次郎	仁川府花町三丁目 朝日洋行 電話六六六番	仁川府花町三丁目 朝鮮第六區機船底 曳網漁業水産組合	仁川府花町三丁目 朝鮮中央無盡會社 電話七六八番	仁川府花町三丁目 回漕業木村組	仁川府花町三丁目 朝鮮米穀倉庫會社 支店	仁川府花町三丁目 共益社仁川支店 梅田常博	仁川府花町三丁目 金泰動
仁川府花町三丁目 永井照雄	仁川府花町三丁目 武田鏡太郎	仁川府花町三丁目 朝鮮總督府總務局仁川海軍出張所 所長石黒悌吾	仁川府花町三丁目 朝鮮燐寸株式會社 支店人江川洋 電話一五一五番	仁川府花町三丁目 大阪商船株式會社仁川代理店 株式慶田組	仁川府花町三丁目 大瀬湯(年中無休) 松島遊園株式會社 電話四七七番	仁川府花町三丁目 仁川府花町三丁目 力武物産株式會社 電話一七番	仁川府花町三丁目 朝鮮取引所 仁川支店	仁川府花町三丁目 京城電氣株式會社 仁川支店 電話二四・二三四・一〇七六	仁川府花町三丁目 仁川俱樂部 朝鮮運送株式會社仁川支店 朝鮮郵船仁川出張所 朝鮮郵船仁川出張所 朝鮮郵船仁川出張所	仁川府花町三丁目 朝鮮機械製作所 電話一〇九五番 電話二〇三〇番	仁川府花町三丁目 仁川白米共同販賣組合	仁川府花町三丁目 東洋紡績株式會社 仁川工場	仁川府花町三丁目 仁川醫友會 電話六五五番	仁川府花町三丁目 渡會儀市	仁川府花町三丁目 森廣城佐牧莊河米西岩岩 下兼戸藤瀬野山野永井 喜寅誠主武啓宇入計三 義雄一一廣司了司澄七郎

奉祝建國祭

本日精神發揚週間



朝鮮製鍊株式會社

株式會社 半島ホテル
京府府黄金町一丁目
電話本局三七一七番

京仁トラック株式會社

明治座

三菱商事株式會社京城支店
三菱ミシン陳列場
京府府黄金町一丁目
電話本局三七一七番

鐘紡サービスステーション
京府府黄金町一丁目
電話本局三七一七番

和信
京城路

三子屋
京城路

三井
京城路

三越
京城路

櫻正宗

宗正櫻

社合式株酒邑山

ビクターレコード
各社御用
コロムビアレコード
イヘイタ

フリーテに頭痛

無代進呈

ヤシマ

ねぢバイト検査器

正確な「ねぢ」を切る為には非
バイト検査器を備へませう

ヤシマ 測定器
ヤシマ 顕微鏡
ヤシマ 顕微鏡寫眞装置
ヤシマ 光學機械一式

戦線の勇士へ

かちどき
みどり

朝鮮取引所

白井友之助商店

朝鮮取引所

十寶丹京城營業所
主任 米田 勇

朝鮮放送協會

親和企業株式會社

親和礦業株式會社

親和企業株式會社

親和礦業株式會社

鑄鋼工場完成

鑄鋼工場完成

鑄鋼工場完成

弘中商工株式會社

神鋼金銭登録機!!

御繁榮の鍵

株式會社 熊平商店

空襲! 断水!

着けよ化工の防毒面
投げよ化学消火器躍進號

カナエ商會

國報業藥

藥種貿易 (毎月商報發行)

株式會社 北島藥店

天下一品

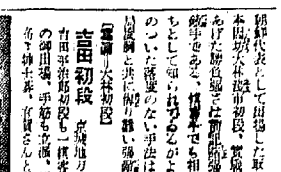
龍

油醬ウリーフキ

社會式株油醬町野

李面長の死を修身教科書卷五に掲載

を席卷する

[illegible]

嵐を呼ぶ本社主催の圍碁大會
 全鮮大會出場の棋士銘々傳

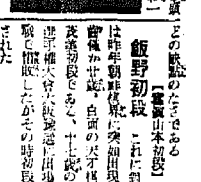
昨午正三時、同新聞記者協同機大音はよく聞え十一日
九時の往時の歴史的東京城タワーに切つて落し、既に
鮮き遊樂場を占めて舞臺を致すべく舞臺中周に宛めたる
巨形表紙上を占めて舞臺を致すべく舞臺中周に宛めたる
有は何人とも世界一の天才橋本六段を認めてその部下下
は手計無難は正十二時に一行はのりてき出遊者これ
に手計無難は正十二時に一行はのりてき出遊者これ
に手計無難は正十二時に一行はのりてき出遊者これ

た、昨午、月宮川遊樂場の發售
式の傍に本報記者如きが先
席で二目的の舞へが、よせ

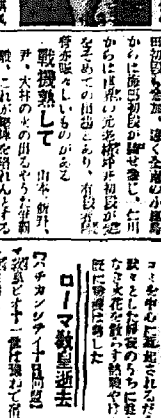


のちつとしたしきでかへ情收
してゐる。古今の情收と稱して

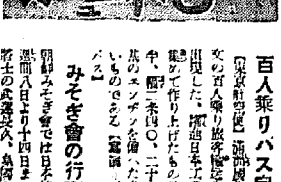
あつた。古今の情收と稱して

[illegible]

教習所が二百、會員八千人

[illegible]

お歴々が一堂に座談會開催

[illegible][illegible]

總督、陸軍病院慰問

[illegible]

偽通帳行使
二年を求刑

議
座談會開催

病苦から服毒
五時、並崎町四
六日

紙の事、昨午阿江、十月
並崎地方法院に控訴、其
事、今午阿江、立會、初事
二年、求刑、され、判例、

午後七時半から、長谷川町東
に於て日本料理發揚會が

[illegible]

平利貨にまさ起つてゐる

肺結核

「ツバクロジシマツ」

専門の
菌落

